

### 結心会 Presents

#### 改正保険業法施行に向けて 代理店の未来を支える

## 最新ソリューション Vol.3

改正保険業法の施行を控え、保険代理店はいま大きな転換点を迎えている。(一社)保険健全化推進機構「結心会」は、その変化に対応すべく、会員企業と連携し保険代理店の持続可能な運営体制づくりを推進している。代理店の体制整備強化と業務品質向上に資する最新ソリューションを紹介する本特集の最終回。

### 代理店のセキュリティ対策を支援

## 現場で使えるフォレンジックツール

AIデータ(株)リーガルデータカンパニー  
リーガルデータ(株)

代表取締役 森田 善明氏



— 自社の紹介を。

AIデータは、データ解析・保全・復旧を中心に多様なサービスを展開するテクノロジーカンパニーです。主力事業の一つであるリーガルデータ

事業では、官公庁や企業、法律事務所などに向けてデジタルフォレンジック(電子証拠調査)サービスを提供しており、官公庁においてはトップ

シエアを確立しています。調査・解析を行う技

術で、不正調査の標準的な手法としてグローバルに用いられています。退職者による情報漏えいの調査、過労死やハラスメントといった労務関連問題の実態把握などをはじめ、損害会社における事故発生時のドライブレコーダー、防犯カメラの画像解析など、客観的な事実確認が求められる現場で広く活用されています。



「EASY Forensics」について。対象の端末にUSBを接続し、数回のマウス操作を行うだけで、誰でも簡単にデジタルフォレンジックを行えるツールです。機能は大きく三つあり

まず、「警告」「注意」となるデータを改変することなく完全な複製を作成する「データ保全」です。官公庁の調査においても必須とされるこの機能を搭載している点が、他社にはない特長の一つです。二つ目は「データ解析」です。情報漏えい検知と就業規則不正検知の二軸で解析レポートを作成し、「警告」「注意」といった形で疑わしい挙動を可視化します。蓄積されたノウハウを基に、「大量のファイルを一括で削除」といった不正事案につながる可能性のある操作ログをあらかじめ設定しているため、利用時に個別のルール設定を行う必要はありません。不正の兆候を早期に発見することで迅速な対応が可能になるとともに、定期的な調査により不正の抑止効果も期待できます。

三つ目が「個人情報の検出」です。端末に保存されている個人情報のある無を自動的に洗い出し、不要なデータの整理を支援します。特に保険代理店では、解約者など保管の必要がない個人情報が残りがちですが、本機能により適切な管理を徹底できます。氏名やマイナンバーなどの文字情報だけでなく、免許証やパスポートのような顔写真が含まれる画像データも検出対象としている点が大きな特長です。情報漏えいは、企業のレピュテーション低下を招くだけでなく、事業継続にも影響を及ぼしかねません。適切な管理を行っている証跡を客観的に示すためには、デジタルフォレンジックのような確かな技術による備えが不可欠ですが、中小企業にとっては「高コスト・高難度・高負荷」が導入の障壁となっていました。そこで当社は、この課題を解決すべく、価格を抑え操作を簡素化した本ツールを開発しました。

— 代理店へのメッセージを。

「暗黙知を可視化してガバナンス意識をチェックするツールとして有効活用している」などの声が寄せられています。— 今後の展望を。実効性ある不正防止の取り組みを小規模代理店にまで浸透させるには、代理店任せにするのではなく、保険会社が主導してデータ管理やコンプライアンスに関する明確な指針を示すとともに、費用面での支援を講じることが重要です。こうした点も考慮していただきつつ、関係各所と連携しデジタルフォレンジックの活用を根付かせることで、保険業界全体の信頼向上に貢献していきたいと考えています。

Forensics」を開発・提供しています。— 「EASY Forensics」について。対象の端末にUSBを接続し、数回のマウス操作を行うだけで、誰でも簡単にデジタルフォレンジックを行えるツールです。機能は大きく三つあります。一つ目は、証拠となるデータを改変することなく完全な複製を作成する「データ保全」です。官公庁の調査においても必須とされるこの機能を搭載している点が、他社にはない特長の一つです。二つ目は「データ解析」です。情報漏えい検知と就業規則不正検知の二軸で解析レポートを作成し、「警告」「注意」といった形で疑わしい挙動を可視化します。蓄積されたノウハウを基に、「大量のファイルを一括で削除」といった不正事案につながる可能性のある操作ログをあらかじめ設定しているため、利用時に個別のルール設定を行う必要はありません。不正の兆候を早期に発見することで迅速な対応が可能になるとともに、定期的な調査により不正の抑止効果も期待できます。三つ目が「個人情報の検出」です。端末に保存されている個人情報のある無を自動的に洗い出し、不要なデータの整理を支援します。特に保険代理店では、解約者など保管の必要がない個人情報が残りがちですが、本機能により適切な管理を徹底できます。氏名やマイナンバーなどの文字情報だけでなく、免許証やパスポートのような顔写真が含まれる画像データも検出対象としている点が大きな特長です。情報漏えいは、企業のレピュテーション低下を招くだけでなく、事業継続にも影響を及ぼしかねません。適切な管理を行っている証跡を客観的に示すためには、デジタルフォレンジックのような確かな技術による備えが不可欠ですが、中小企業にとっては「高コスト・高難度・高負荷」が導入の障壁となっていました。そこで当社は、この課題を解決すべく、価格を抑え操作を簡素化した本ツールを開発しました。